

長尾小だより

第9号
文責

平成26年10月29日(水)
校長 田中 均

【研究会】

10月24日(金)に、本校を会場に、渋川市教育実践研究会が聞かれました。これは、先生方が取り組んでいることを発表するとともに、よりよい授業を求めての研究の機会でもあります。渋川市の半数の小学校の先生方に来ていただき授業を見てもらいました。「長尾小の子どもたちは、本当によく授業に取り組んでいますね。」という言葉をよくの先生方からいただきました。とても嬉しく思いました。研究会だけでなく、これからはさらによく授業に取り組めるようにしていきましょう。



【旅行】

10月3日(金)の2年生と4年生の旅行を皮切りに、各学年の旅行が実施されています。すでに1年生から5年生までは行事が終了し、そのまとめを行っています。6年生はこれから修学旅行に出かけます。遠足や旅行は昔からある行事ですが、だんだんと方面等が変化してきています。しかし、目的にはそれほど大きな変化はなく、「自然の中で平素とは異なる環境で、見聞を広め、自然や文化に親しむとともに、人間関係などの集団生活や公衆道徳について望ましい体験が積むことができる」ような活動を行うことです。それぞれの学年により、方面等は発達段階等で異なりますが、大きなねらいは同じです。今年の旅行はどうだったでしょうか？いろいろな経験が積めたことと思います。

1年生 クローネバルク・フラワーパーク



2年生 群馬サファリパーク



3年生 昆虫の森



4年生 自然史博物館



5年生 宿泊自然体験学習



【陸上記録会】

10月17日(金)に、渋川総合運動公園陸上競技場で渋川市・北群馬郡の陸上記録会が行われました。本校からは、5・6年生の選手45名の人に参加し、他の学校の選手と競い合いました。自己新記録が出せた人もいれば出せなかった人もいましたが、それもみんなよい経験です。陸上に限らず本番で力を出すのはなかなか難しいものです。どうしたら出せるのかをいろいろと試すことが大事だと思います。県大会に出場を決めた松島君、須田さんは、10月28日に敷島公園陸上競技場で行われる大会に参加します。ぜひ市の代表として、自己記録を出せるように頑張ってください。



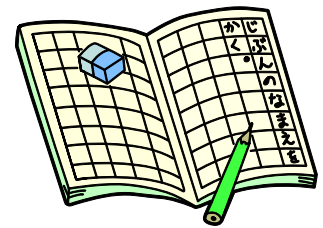
【50mハードル】



【応援も頑張りました】

【視写のお勧め】

先日、国語が専門の先生とお話をする機会がありました。その先生が宿題について話していたことが大変印象に残りましたので紹介します。それは、新聞の1面に載っている上毛新聞なら『三山春秋』、朝日新聞なら『天声人語』、読売新聞なら『編集手帳』のような所をノートに写し、分からない言葉や漢字は辞書で調べることを習慣化すると、大変国語力がつくという話でした。国語だけではなく、社会の力もつくと感じました。しかし、少し難しいかもしれません。そこで、小学生新聞ならふりがなも振ってあるしもっとお勧めだと思います。まあ、新聞に限らず、気に入った文章を写すことが大変国語力をつける上では、効果があることをその国語の先生は強調していました。自主学习等で挑戦してみてください。



【朝礼から】

10月27日(月)の朝礼で、子どもたちに「○○の秋」に入る言葉を聞いたところ、ある調査で出てきたものがほとんど子どもの中から出てきました。ちなみに、1位は「食欲の秋」、2位は「読書の秋」、3位は「芸術の秋」、4位は「スポーツの秋」、5位は「睡眠の秋」だったそうです。睡眠以外の4つは、子どもたちの中からも出てきました。秋の夜長、読書するのにいい時期だと思います。絵本の読み聞かせを子どもにするのは何歳までなのでしょう？決まりはないと思います。